



ビデオ エンドポイント管理

- [ビデオエンドポイント管理の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ビデオエンドポイント管理機能の互換性 \(2 ページ\)](#)
- [ビデオエンドポイントのプロビジョニングと移行の懸念事項 \(4 ページ\)](#)
- [ビデオエンドポイント移行レポート \(5 ページ\)](#)
- [プロビジョニングと移行のシナリオ \(6 ページ\)](#)

ビデオエンドポイント管理の概要

この機能により、管理者が Cisco TelePresence ビデオ エンドポイントをプロビジョニングおよび管理する作業が簡単になります。管理者は、ユニファイドコミュニケーションマネージャーの Cisco TelePresence エンドポイントの設定をプロビジョニングし、それらの製品固有の設定をエンドポイントにプッシュできます。

12.5 (1) SU1 より前のリリースでは、製品固有の設定の一部だけがユニファイド コミュニケーションマネージャからエンドポイントにプッシュされ、その結果エンドポイントの部分的な設定になりました。管理者は、すべての設定を構成するために、Cisco TelePresence Management Suite またはテレプレゼンス エンドポイントの ウェブ インターフェイスに依存する必要がありました。ユニファイド コミュニケーション マネージャの [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウには、エンドポイントでのユーザの表示内容と一致する Cisco TelePresence エンドポイントの完全な製品固有の設定レイアウトが含まれています。この更新により、管理者はユーザの代わりに設定を適用し、それらの設定をユーザにプッシュすることができます。



- (注) 一括管理ツール(BAT)電話テンプレートの設定ページには、エンドポイントパラメータの完全なリストをサポートする、新しいモデル固有の設定がタブレイアウトで表示されます。パラメータのセット全体をインポートしたり、エンドポイントの特定のパラメータを一括して変更したりできます。

ビデオ エンドポイント管理機能には、次の利点があります。

- テレプレゼンス エンドポイントは、ユニファイド コミュニケーション マネージャから完全にプロビジョニングできます。ユニファイド コミュニケーション マネージャのユー

ザインターフェイスにリストされているエンドポイントパラメータは、Cisco TelePresence モデルの**詳細設定**に記載されている順序と同じ順序になっています。さまざまな詳細パラメータの詳細については、コラボレーションエンドポイントの管理者ガイドのそれぞれのモデルを参照してください。

- **新しい製品固有の設定レイアウト:** 新しいレイアウトでは、タブレイアウトのモデル固有の設定が詳細に表示されます。これは、限られたパラメータセットのみにアクセスを提供した以前の flat 形式からのアップグレードです。新しいレイアウトにより、Cisco ユニファイド CM の管理インターフェイスで Cisco TelePresence 設定の完全なリストが確保されます。
- **ビデオ エンドポイントからの設定データの自動移行:** これにより、エンドポイントからユニファイド コミュニケーション マネージャ、またはその逆のデータを自動的に同期することによって、エンドポイントの導入が簡素化されます。エンドポイントの設定は、工場出荷時の設定にリセットした場合、または製品が & 交換 (RMA) を交換する場合に完全に復元できます。



- (注) コラボレーション エンドポイント (CE) ソフトウェア 9.8 以降をサポートするエンドポイントは、[電話の設定 (Phone Configuration)] ページの製品固有の設定フィールドにこの新しいプロビジョニングレイアウトを使用できます。9.8 よりも前の CE ソフトウェア バージョンを使用している場合は、新しい詳細パラメータのセットをすべて表示できます。ただし、新しいパラメータのセットは、CE ソフトウェア バージョンを 9.8 以降にアップグレードした場合にのみ機能します。サポートされているパラメータのサブセットには、ユーザ インターフェイスの各パラメータ値の右側に「#」が付けられています。デバイスタイプが新しいプロビジョニングフレームワークをサポートできる場合は、デバイスパックをユニファイド コミュニケーション マネージャにロードする必要がありますが、その他のパラメータは表示されません。

ビデオ エンドポイント管理機能の互換性

次の表は、Unified Communications Manager および Collaboration Endpoint (CE) バージョンと互換性のあるビデオ エンドポイント管理機能の詳細を示しています。

Unified Communications Manager のバージョン	CE エンドポイントバージョン	予想される動作
12.5 (1) SU1	9.8 以上	<p>12.5(1) SU1 以前に追加されたデバイス :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 正常にバックアップされたデバイスの高度な構成 UI (タブ付きレイアウト) • まだバックアップされていないデバイスの制限された設定 UI (フラットレイアウト) <p>UI/BAT/AXL を介して追加された新しいデバイス :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高度な構成 UI <p>(注) CE 9.8 以降を実行することを強く推奨します。</p>
12.5 (1) SU1	9.7 以下	<p>12.5(1) SU1 以前に追加されたデバイス :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 制限された構成 UI <p>UI/BAT/AXL を介して追加された新しいデバイス :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 効果を発揮しているパラメータの制限された一式のみを含む高度な設定 UI <p>(注) CE 9.7 またはそれ以前のバージョンの移行では、移行中に既存のエンドポイント構成を維持することはできません。移行されたデバイスを登録すると、Unified CM は、既存構成をデフォルト設定で上書きします。</p>
12.5(1) 以下	9.8 以上	制限された構成 UI

ビデオ エンドポイントのプロビジョニングと移行の懸念事項

Unified Communications Manager アップグレード後のバックアップ

Unified Communications Manager 12.5(1)SU1 をアップグレードする際、サポートされているエンドポイントタイプの既存の設定が、自動でエンドポイントから Unified Communications Manager に移行されます。

1. Unified Communications Manager を、バージョン 12.5(1)SU1 以降にアップグレードします。
2. エンドポイントが Unified Communications Manager に登録されます。
3. 次に、Unified Communications Manager が、製品固有のパラメータの一連の設定を要求するエンドポイントに SIP Notify メッセージを送信します。
4. CE 9.8 またはそれ以降にアップグレードされたエンドポイントは、SIP REFER メッセージを使用して、設定データ一式を (xConfiguration 形式で) Unified Communications Manager に送信します。
5. Unified Communications Manager は、この設定データを処理し、[Cisco Unified CM Administration] インターフェイスで、Cisco TelePresence 設定 (高度な構成 UI) の完全なリストを作成します。



(注) Unified Communications Manager は、Unified CM がエンドポイントから正常にデータをバックアップできた場合にのみ、新しいレイアウトに完全なエンドポイント構成設定を表示します。

構成制御モード

導入のニーズに基づいて、管理者は、[Cisco Unified CM Administration] インターフェイスでさまざまな構成制御モードを設定できます。構成設定をエンドポイントまたは Unified Communications Manager から集中的に制御するか、または両方を同時に制御するかを決定できます。

[電話機構成 (Phone Configuration)] ページの製品固有構成レイアウトセクションにアクセスして、[その他 (Miscellaneous)] タブの「[一般設定 (General Settings)]」にある **[構成制御モード (Configuration Control Mode)]** を選択します。次のように、さまざまな構成制御モードがあります。

- **Unified CM and Endpoint (デフォルト)** : Unified Communications Manager とエンドポイントをプロビジョニング エンドポイント データに対してマルチプライム ソースとして操作する場合はこのモードを選択します。Unified CM およびエンドポイントが、構成モードの吐合は、エンドポイントを介したローカルの更新は、Unified CM サーバに同期されません。

- **[Unified CM]** : Unified Communications Manager をプロビジョニング エンドポイント データの中央化プライマリ ソースとして操作し、ローカルのエンドポイントでの設定を許可しない場合は、このモードを使用します。
- **[エンドポイント (Endpoint)]** : エンドポイントを設定データの中央化プライマリ ソースとして操作する場合は、このモードを使用します。このモードでは、エンドポイントは Unified Communications Manager からの構成データをすべて無視し、ローカルで行った変更を同期しません。通常、このモードは、Audiovisual (AV) インテグレーターがエンドポイントをインストールしていて、エンドポイントから設定を制御する必要がある場合に使用されます。



- (注) エンドポイントモードでは、CE デバイスは、リリース 12.5(1)SU1 の前にサポートされていた制限付きパラメータを引き続き許可します。Unified Communications Manager は、これらパラメータを「#」記号で示します。CE デバイスは、12.5(1)SU1 リリース以降からサポートされている拡張パラメータの一式を無視します。

オンデマンドの設定プル機能

管理者は、**[電話機から構成を取得 (Get Config from Phone)]** オプションを使用して、指定した時点で CE 9.8 エンドポイント デバイスからの構成変更をプルします。

[電話機構成 (Phone Configuration)] ページの [製品固有構成レイアウト (Product-Specific Configuration Layout)] セクションにアクセスし、ページの上端にある **[電話機から構成を取得 (Get Config from Phone)]** ボタンをクリックし、オンデマンドの CE 9.8 エンドポイントからデータ構成をプルします。このオプションは、エンドポイントが登録されている場合にのみ有効になります。

ビデオ エンドポイント 移行レポート

拡張設定バックアップのビデオエンドポイントは、12.5(1)SU1 のリリースで [電話機の検索と一覧 (Find and List Phones)] ウィンドウに導入された新しいフィルタです。管理者は、自動的に移行された CE エンドポイント数と、実行できなかった CE エンドポイントの数に関する詳細を検索できます。この情報に基づいて、修正措置を講じることができます。



- (注) [電話機の検索と一覧 (Find and List Phones)] では、Collaboration Endpoint (CE) ソフトウェア 9.8 またはそれ以上が実行しているビデオエンドポイントのみで、**拡張設定バックアップのビデオエンドポイントフィルタ**を適用することができます。

プロビジョニングと移行のシナリオ

次の表では、さまざまなプロビジョニングと移行のシナリオについて説明します。これらのシナリオのすべては、TelePresence ビデオエンドポイントが、Unified CM からプロビジョニングされた製品固有の設定をサポートする CE リリースにアップグレードされていることを前提としています。Unified CM では、これらの設定は[製品固有設定 (Product-Specific Configuration)] セクションに表示されますが、エンドポイントでは [詳細設定 (Advanced Configuration)] に表示されます。

表 1: ビデオ エンドポイントのプロビジョニングと移行のシナリオ

タスク	既存の設定の概要	対処方法
ビデオエンドポイントのプロビジョニング	<ul style="list-style-type: none"> 新しいデバイスのブランド デバイスがユニファイド CM でプロビジョニングされていません デバイスまたはユニファイド CM の既存の設定がありません 	最小リリース 12.5 (1) SU1 および CE エンドポイント (9.8) でユニファイド CM を使用すると、新しいエンドポイントをプロビジョニングし、統合 CM から製品固有の設定を管理できます。

タスク	既存の設定の概要	対処方法
VCSからの既存のビデオエンドポイントの移行	<ul style="list-style-type: none"> • 既存デバイス • デバイスがユニファイドCMでプロビジョニングされていません • デバイスは設定されていますが、ユニファイドCMには設定がありません 	<p>既存のビデオエンドポイントを Cisco TelePresence ビデオ通信サーバから Cisco Unified Communications Manager に移行する場合は、次のようにします。</p> <p>ユニファイドCMの[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウを使用した電話機の追加:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機をユニファイドCMに追加しますが、[保存 (Save)] をクリックしないでください。 • 電話の登録 登録後、電話機からの既存の [高度な構成 (Advanced Configuration)] 設定は、ユニファイドCMにアップロードされ、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで [製品固有の設定 (Product-Specific Configurations)] に表示されます。 • [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで [保存 (Save)] をクリックして新しい設定をします。プロビジョニングされた設定が電話機にダウンロードされます。 <p>詳細な手順の参照先: 移行ビデオエンドポイントを Unified CM に追加する (8 ページ)</p> <p>一括管理による電話機の追加</p> <p>プロビジョニングに使用する csv ファイルまたは BAT テンプレートに、製品固有の設定フィールドが含まれていないことを確認してください。</p> <p>AXL を介した電話機の追加</p> <p>AXL 要求に、製品固有の設定フィールドが含まれていないことを確認してください。</p>
登録済みビデオエンドポイントを使用した、以前のリリースのユニファイドCMからのアップグレード	<ul style="list-style-type: none"> • 既存デバイス • デバイスは、12.5 より前のリリースのユニファイドCMでプロビジョニングされます。 • ユニファイドCMには、デバイスの製品固有の構成時の設定が限定されています。 	<p>CE エンドポイントがサポートされているバージョンである限り、ユニファイドCMをアップグレードすると、エンドポイントからの [高度な構成 (Advanced Configuration)] 設定は、デバイスの登録後に自動的にユニファイドcmに取り込まれ、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [製品固有の設定 (Product-Specific Configurations)] セクションに表示されます。</p> <p>登録後に、必要なすべての設定に加えて、設定制御モードを設定できます。</p>

移行ビデオ エンドポイントを Unified CM に追加する

Cisco TelePresence ビデオ通信サーバから既存の Cisco TelePresence ビデオ エンドポイントを Unified Communications Manager に移行する際は、[電話設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、CE エンドポイントを Unified CM に追加する手順を使用します。これにより、エンドポイントの既存 **Advanced Configurations** を Unified CM の [電話設定 (Phone Configuration)] から管理することができます。



(注) この手順を厳密に実行してください。デバイスを登録しても、エンドポイントからの設定は、Unified CM に自動的にアップロードされません。



(注) この手順では、Unified CM [電話設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [テンプレートの新規追加 (Add New from Template)] 設定を使用します。また、Bulk Administration や AXL などのツールを使用してもエンドポイントを追加できます。

始める前に

移行する前に、ファームウェアを CE 9.8 以降にアップグレードすることを強く推奨します。CE 9.7 またはそれ以前のバージョンでは、デフォルト設定による登録中に Unified CM は、既存のエンドポイント設定を上書きします。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM 管理から、[デバイス]>[電話機] を選択します。

ステップ 2 [テンプレートの新規追加 (Add New from Template)] をクリックし、次の電話の詳細を入力します。

- [電話の種類 (Phone Type)] ドロップダウンリストから、[モデル (Model)] を選択します。
- エンドポイントの **MAC アドレス** を入力します。
- [デバイス テンプレート (Device Template)] ドロップダウンリストで、[ユニバーサルデバイス テンプレート (universal device template)] を選択します。
- 電話機に追加する **ディレクトリ番号** を選択します。存在しない場合は、[新規作成 (New)] をクリックして、ディレクトリ番号を設定します。
- [ユーザ (User)] ドロップダウンリストから、デバイスを所有するユーザを選択します。

ステップ 3 [Add (追加)] をクリックします。 [電話の設定 (Phone Configuration)] には、電話の設定を記入するためのユニバーサルデバイス テンプレートの設定が表示されます。 [製品固有の設定 (Product-Specific Configurations)] セクションも表示されますが、電話機からの既存の設定ではなく、デフォルト設定が使用されます。

(注) [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [新規追加 (Add New)] でもデバイスを追加できますが、この方法は、設定を手動で入力する必要があります。

ステップ 4 [保存 (Save)] は クリックしないでください。設定を保存した場合、Unified CM は、電話から既存の設定をロードしなくなります。誤って保存した場合は、この手順の下部に記載されている復旧手順であるトラブルシューティングの注意を参照してください。

ステップ 5 電話の登録

登録中は、電話の既存の [高度な構成 (Advanced Configuration)] 設定が、Unified CM にプルされ、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [製品固有の設定 (Product-Specific Configuration)] セクションに表示されます。

ステップ 6 [電話の設定 (Phone configuration)] ウィンドウで、[設定制御モード (Configuration Control Mode)] フィールドを設定してエンドポイント設定をどのように管理するかを設定します。

- **Unified CM and Endpoint (デフォルト)** : Unified Communications Manager とエンドポイントをプロビジョニング エンドポイント データに対してマルチプライム ソースとして操作する場合はこのモードを選択します。Unified CM とエンドポイントが、設定モードの場合、エンドポイントを介してローカルで実行された更新は、Unified CM と同期され、Unified CM で行った変更は、エンドポイントと同期されます。
- **[Unified CM]** : Unified Communications Manager をプロビジョニング エンドポイント データの中央化プライマリ ソースとして操作し、ローカルのエンドポイントでの設定を許可しない場合は、このモードを使用します。
- **[エンドポイント (Endpoint)]** : エンドポイントを設定データの中央化プライマリ ソースとして操作する場合は、このモードを使用します。このモードでは、エンドポイントは既存の設定を維持し、Unified Communications Manager からの構成データをすべて無視し、ローカルで行った変更を同期しません。通常、このモードは、Audiovisual (AV) インテグレーターがエンドポイントをインストールしていて、エンドポイントから設定を制御する必要がある場合に使用されます。

(注) エンドポイントの既存の設定を維持する必要がある場合は、少なくともエンドポイントが登録プロセスを完了するまで、[エンドポイント (Endpoint)] モードを選択することを推奨します。この手順を完了した後に、設定を他のモードのいずれかに切り替えることができます。

ステップ 7 必要な電話機の設定を行います。フィールドと設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 8 [保存] をクリックします。

Unified Communications Manager 内でプロビジョニングされた設定がエンドポイントにダウンロードされます。



(注) デバイスの登録前に、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで誤って [保存 (Save)] をクリックしてしまった場合、デバイスが登録されても、エンドポイントの既存 **Advanced Configuration** 設定は、Unified CM にロードされません。リカバリするには、デバイスを登録する前に、次の手順を実行します。

- Unified CM で、[設定制御モード (Configuration Control Mode)] を [エンドポイント (Endpoint)] に設定し、[保存 (Save)] をクリックします。
- 電話機が Unified CM に登録されるようにします。
- 登録後に、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウでデバイスの設定に戻り、[デバイスからの設定の取得 (Get Config from Device)] ボタンをクリックします。電話機の既存の**詳細設定**の設定の結果が Unified CM に引き継がれます。このボタンは、デバイスを登録するまで表示されません。
- 設定を完了するために、この手順のステップ 6 に戻ります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。